

## 2023(令和5)年度中体連陸上競技全道申し合わせ事項(案)

### <競技運営に関すること>

1. 9レーンがある競技場の場合、これを有効に活用する。  
レーン数が不足する場合は、同記録の写真をより細かく優劣を判定して進出者を決める。それでも決められない場合は抽選とする。決勝進出者を決める場合も同様とする。
2. リレーの選手の変更について  
1日目にリレーのオーダーを提出後、2日目に変更を希望する場合は、特に理由を聞かずに変更を認める。ただし、リレーのオーダー提出時間内であること。
3. ユニフォームについて  
リレーにおいて同一色のユニフォームを着ること。統一されていない場合は失格もあり得る。  
(抗議があった場合)
4. 抗議は、各地区専門委員長を通して行う。該当の学校の監督が直接行うことはしない。地区専門委員長が不在の場合は代理の者が行う。
5. VTRによる抗議は原則として受け付けない。
6. 棒高跳において、競技開始後1時間30分経過しても試技を行っていないものについては、1時間30分経過後、新たにあげられたバーの高さで助走練習の時間を設ける。
7. 試技時間は、通常の場合超えてはならないが、2種目出場で残っている競技者が1人、全国大会標準記録に係る場合は、教育的配慮を行う。
8. タイムレース決勝の順位について、同タイムの時は、1/1000で判断する。それでも同じ場合は同順位とする。
9. 走幅跳の粘土板は、ゴムで代用することを可とする。(逆さで対応可)
10. 短距離種目の準決勝のラウンド数について。予選の組数が10組以上の場合は準決勝4組とする。(例:予選9組であれば、2着+6で準決勝3組。予選10組であれば、2着+12で準決勝4組)

### <大会参加資格に関すること>

1. 地区1位の代表が辞退した場合は、2位以下の繰り上げ出場はしない。地区1位で参加する場合は、番組編成のため地区大会、通信大会ともに記録を入力する。
2. 地区大会で学年別種目がある場合、地区1位の参加については各地区で申し合わせること。  
(同一種目で、地区1位が学年ごとにいないこと)
3. 四種競技において各種目の標準記録を破っても、単独では出場できない。
4. 地区中体連の大会で公認グラウンドのない地区の場合も、標準記録を突破した場合、または地区1位も出場を認める。(宗谷地区他)。  
⇒競技場の改修・地区の事情により大会を公認グラウンドで行えない場合。  
※全国大会の指定大会(四種競技)は、全国の出場は不可
5. フィールドがタータン、トラックが土の場合、四種競技の標準記録はシンダー用の記録を適用する。
6. 再レースで標準記録を突破した場合は出場可とする。(全国大会についても同様)
7. 順位決定戦で標準記録を突破した場合は出場可とする。(全国大会についても同様)
8. リレーの選手登録及び参加については、全道大会の予選会となる大会(通信陸上大会又は各地区中体連大会)の参加申し込みの時点で、当該学校に在籍している生徒とする。
9. 地区中体連合同開催の場合の地区1位のおさえ  
①基本的には、合同開催をしても地区1位は該当地区から選ぶ。  
②合同開催を行った地区には、全道大会参加書類に地区1位報告用紙の提出を義務付ける。  
(地区委員長が作成する)  
③地区1位の選出については、地区の専門委員会で協議し、参加校に周知徹底する。  
⇒地区合同大会に出場した選手より選出する。
10. リレー競技については、全道大会申込後に他競技での全道大会出場が決定し、チームが編成できなくなった場合に限り、選手の入替えを認める。その場合、該当選手が他競技に出場することがわかる証明書(参加申込書等)を添えて、大会事務局に早急に任意の書式を提出すること。

### <その他>

1. 悪天候(雷など)の場合、日程の変更や中止などもあり得る。  
(特に棒高跳については選手の安全面を考え、判断する。)